

11月は「ねんきん月間」

11月30日(月)は「年金の日」です

日本年金機構では、厚生労働省と協力して毎年11月を「ねんきん月間」として位置付け、国民の皆さんに公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めてもらえるよう普及・啓発活動を行っています。

■「一日年金出張相談所」を開設します

「ゆめタウン光の森」で、無料の出張相談を開催します。年金に関する相談・質問など気軽にお尋ねください。

と き 11月30日(月) 午前10時～午後3時

ところ 「ゆめタウン光の森」本館2階
(北側エスカレーター横)

※事前予約はできません。

※個人の記録に関する相談は、「年金手帳」などの年金番号がわかるもの、「免許証」などの身分証が必要です。

■「ねんきんネット」をご利用ください。

- これまでの年金記録を自宅のパソコンやスマートフォンで、24時間いつでも最新の年金記録を確認できます。
- インターネットならではの便利な使い方ができます。

- ①日本年金機構に提出する一部の届書をパソコンで作成・印刷
- ②ねんきん定期便や年金振込通知書など各種通知書を確認・ダウンロード
- ③持ち主のわからない年金記録の検索もできます
 - これからの人生設計に合わせた働き方の条件を設定して、年金見込額をかんたんに確認できます。

■利用登録はとても簡単です

「ねんきんネット」の利用には、ユーザーIDの取得(利用登録)が必要です。利用登録には基礎年金番号(年金手帳や年金証書に記載されている10桁の番号)が必要です。手元に「ねんきん定期便」がある人は、アクセスキー(17桁の番号。有効期限は「ねんきん定期便」が届いてから3カ月間)を使って、簡単に利用登録できます。

■問い合わせ先

☎専用ダイヤル(ナビダイヤル) 0570(058)555
※050から始まる電話でかける場合 03(6700)1144

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます 年末調整・確定申告まで大切に保管してください

国民年金保険料は、所得税や住民税の申告で全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。この社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。

1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」

(はがき)が日本年金機構から送付されます。年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書または領収証書を添付してください。

家族の国民年金保険料を納付した場合も、本人の社会保険料控除に加えることができます。家族宛てに送られた控除証明書を添付して申告してください。

■11月上旬に送付する場合

証明内容は、本年1月1日から9月30日までの間に納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込み額です。

■2月上旬に送付する場合

年の途中から国民年金に加入したなど、10月1日から12月31日までの間に初めて保険料を納付する人については、翌年2月上旬に同様の証明書が送付されます。



国民年金の「付加年金」をご存知ですか？

国民年金の定額保険料(月額15,590円)に加えて付加保険料(月額400円)を納めると、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされます。

付加年金は申し込みをした月からの加入となり、さかのぼって加入することはできません。

■付加年金の年金額

200円×付加保険料納付月数

■付加保険料を納付できる人は

第1号被保険者(65歳以降の任意加入被保険者を除く)だけが加入し納めることができます。なお、付加保険料も国民年金保険料と同様に納期限(翌月末)から2年間納めることができます。

※保険料の免除を受けている人や国民年金基金の加入者は、納めることができません。

※農業者年金加入者は、必ず納める必要があります。

社会を明るくする運動

高校生の部優秀作文

「母子家庭で学んだこと」

菊池農業高校2年 松達鈴香さん



今、日本では一人親の家庭が増えていると聞いたことがあります。私の家もその中の一つです。

私が幼いころに両親が離婚し、もう10年以上母が一人で私と兄の二人を育ててきました。私の周りにもたくさんそのような家庭があります。その中の友だちからこのような話を聞きました。

今から約2年ほど前、その子も父親がおらず、お母さん一人で二人の娘を育てています。ある時、友だちが別の友だちと喧嘩をしてしまい、喧嘩した相手の親が出てきて、親同士もめ合いになりました。その時、喧嘩した相手親から思いがけない言葉を発せられました。

「これだから…父親のいない子は…」

その言葉を横で聞いていた友だちは強いショックを受け、悔しさもこみ上げ、泣いてしまったそうです。

この話を聞いて、私も悔しくなりました。父親がいる、いない、それだけで他の家庭から、教育がなっている、なっていないを決められるのか。そう思い、それはおかしいと改めて思いました。父親がいないだけで母親が教育しないなんて、そんなのありません。家庭だけのことで教育がなっていないと決めつけるのは良くないと思うし、それもひとつの偏見に入るのはないかと思えます。現に私の家では家庭内のルールもたくさんあります。他の家庭もきっと同じだと思います。

確かに私の家は母子家庭で、お金に困ったり、家事の手伝いもほとんどするなど、そのようなことを不満に思う時期もありました。でも逆に、そのおかげでお金の大切さ、我慢すること、物の大切さなど、学べた部分もたくさんあります。家事を手伝う事が嫌で反抗した時、母は反抗する私にこう言いました。

「女はね、辛いかもしれんけど、将来お嫁さんに行ったらいろいろなことをしなきゃいかんとよ。それに子どもを産んだら子どもの世話もせんとよ。男が家を支えんとかよく聞くけど、女だつて家ば支えんとやっていけんよ。そうやってお互い頑張つて家を守っていくことで幸せがやってくるよ。だけん、今はその練習と思つてやれば、そんなきつくなかろ？」

母のその言葉で自然と私もやる気が出て、今では毎日家事をしています。どの家庭でも、それぞれ悩みはあると思います。でも、私たちも、友だちも友だちと喧嘩した相手も、必死に生活していることに変わりはありません。

私は、父がいなくても幸せです。きちんと毎日普通に過ごせています。特別なことはできないけど、それなりに前を向いて歩めています。それは、私の友だちも同じだと思います。それを、何も知らない人から家庭環境だけですべてを決め

つけられたくありません。言われた友だちだけでなく、そのお母さんも嫌な思いがいっぱいで悔しかったと思います。でも、私自身も変わらなくてはいけな部分もあるんじゃないかと考えました。

当時の私は、将来の夢もなく進路も何も考えていませんでした。菊池では3年生で保育の勉強があるとパンフレットで知り、ただ小さい子がかわいくて好きという理由だけで、菊池に入学するのを決めました。でも、もう一度将来のことを深く考えてみようと思えました。その時、荒尾市にあるグリーンランドのCMを見てピンとききました。遊園地のスタッフなら子どもとも触れ合える、夢を与えられることができる、楽しませることができると。私にふさわしい仕事だと思い、遊園地のスタッフになろうと思えました。それから今もずっとその夢は変わっていません。今は、その夢に向かって仲間とのコミュニケーションを大事にし、自分で精一杯の努力をしています。私は自分の目指している夢に一歩ずつ近づけるように、将来胸を張って「夢を叶えられた」と言えるようにしたいです。

私はこれから、辛いこともバネにして前向きにとらえ、頑張っていこうと思います。

そして、私や家族を必死に育ててくれた母を誇りに思い、いつかその思いを母に伝えたいと思っています。